

ももたろう基金【第4次助成】 事業実施報告書

実施事業	平成30年7月豪雨災害支援基金
実施者名	一般社団法人おいでんせえ岡山
助成金額	500000円
受益者数	直接受益者 7名（間接受益者 名）

※イベント実施や複数回実施事業は別紙で各回の人数等、対象者数のわかる資料を添付ください。

実施した事業の内容・成果

<実施内容>

○社協と真備地区の地域住民と笠岡地区の地域住民と連携して

真備地区、笠岡地区の在宅避難地域や避難所、仮設や仮設住宅などでのコミュニティ形成(居場所づくり)

コミュニティ再生のためのサポートを定期的に地域で炊き出し、カフェを実施。

・炊き出しやお祭りブースに出展し、岡山の生産者がつくっているオーガニック野菜や農薬不使用のお米をしっかりとっていただき、感染症予防や関連死を予防。

・医者と看護師とセラピストで、避難所、仮設住宅、コミュニティを訪れ、被災された方やボランティアスタッフの聞き取りやマッサージを提供。

○避難所、施設、炊き出し場所と、サロン・個人宅へ、物資の配達、仕分け作業。

<実施詳細>

・7/17 岡田小学校の避難所より、「パンやカップ麺ばかりで便秘や口内炎をおこしている」「お野菜が食べたい」との連絡が地域住民を通してある。

・7/19 社協主軸の物資仕分け作業に入る(岡山市中区)

・7/26 岡田小学校初炊き出し 300 食分。炊き出し班を店舗・生産者と組み、マッチングする。

・7/26 セカンドハーベストジャパンの支援先をマッチング。倉庫で仕分け作業をする。

・8/6 災害支援ネットワーク北海道と炊き出し 300 食分。

体育館内の避難者に、炊き出しをしながら積極的な声かけをしながら配る。教室にいて、炊き出しを受け取ることでできない、足の悪い高齢者さんに配る。疲労感の溜まって来ているボランティア活動をされている方々にも配る。

・8/11 岡田体育館物資仕分け作業にはいる。ネームタグをいただき、体育館の被災者の方に回りながら声かけをする。

・8/12 二万小学校避難所でお祭り開催。アイス・パイン棒で出店 50 食分。

・8/26 岡田小学校炊き出しとケア。300 食分

・9/27 まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し

・9/29 まきび荘にて、支援物資配達と、スイーツで女子お茶会 20 食分

・10/5 社協まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し

・10/8 柳井原団地炊き出し 80 人

・10/19 まきび公園にて、社協主催の 100 人の炊き出し

・10/23 箭田地区にて炊き出しとケア 80 人

・11/1 呉妹地区尾崎にてサロン再会のための場づくりの炊き出し 50 食分。

・11/13 箭田地区にて炊き出しとケア 80 人

・11/15 下有井公民館にて女子会のスイーツ炊き出し 50 人分

- ・12/14 大高みなし仮設の高齢者の集いにてスイーツ炊き出し 40 食分
- ・12/16 箭田地区にて物資支援とケア
- ・12/22 柳井原団地忘年会にて100人の炊き出
- ・2/17 まび新春祭り出店(飲食・子供の遊び場・リラクゼーションと運営スタッフ。
- ・2/19 箭田地区にてスイーツ炊き出し、ぜんざい作りとケア 30 人

<成果>

・炊き出しやお祭りブースに出展したり、サロンの再建、みなし仮設の高齢者の集まりに出展し、岡山の生産者がつくっているオーガニック野菜や農薬不使用のお米をしっかりとっていただいたり、スイーツをお持ちしたり、一緒にぜんざいを作って、ほっとする時間をもていただいた。

再会の場づくりに呼ばれて、喜びの手紙をいただいた。

食を提供することで、笑顔になり、場が緩み、会話が弾み、命のつながりをしみじみと感じた。

・医者と看護師とセラピストで、避難所、仮設住宅、コミュニティを訪れ、聞き取りやマッサージをすることで不安感に寄り添うことができたと思う。

活動の様子 (写真などを添付してください)







ありがとうございます。
 久しぶりの再会での楽しい時間をみんなと
 過ごすことが出来てありがとうございます。
 社会福祉協議会が岡子と始め
 たいので春は「おひんせえ岡山」のスタートの
 方々のおかげで楽しいおうどんおにぎり、そして明るい
 笑い声がいっぱい飛び交って行きました。
 時間があつと言間に過ぎました。
 信じて貰えない家に帰ると一人ぼりに感じる事が
 多くなりすが、今日の再会が次回にも
 続けたいと思っています。
 本当にお世話になりました。
 ありがとうございます。
 これから寒くなりますお体ご自愛ください。
 追伸。フェイスブック拝見しました。

決算報告 (※原則として領収書の写しを添付いただきます。)

今回実施した事業の決算内容は下記の通りです。

収入の部	ももたろう基金助成金	500,000
	収入合計	500,000

費目		算出根拠	金額(円)
①当プログラム助成金 対象費目 当プログラム助成金(このプログラムで集めた寄付金)を充てる費目	炊き出し材料費	(一人分の材料費200円・50人分)	
		フラワーレ 200×50人×2日、200×4人×1日	22,000
		アンソロジー 200円×50人×12日、200円×100人×6日	240,000
		おいでんせえカフェ 200円×50人×12日、200円×250人×2日	218,000
	医療施術料	(一日1000円・スタッフ人数・日数)	
		気楽堂&大賀 1000円×3人×4日	12,000
		非営利活動法人わもん1000円×1人×6日)	6,000
		よもぎ蒸しサロンmimoza 1000円×1人×2日	2,000
			500,000
	②その他費目 当プログラム助成金(このプログラムで集めた寄付金)を充てない費目	容器代(炊き出し用)	
まび新春祭り出店料			1,000
チョコレート(炊き出し用)			1,180
ケア用品アロマオイル		<	19,070
小計			23,118
支出合計			523,118

寄付者へのメッセージ

未だかつて経験したことのない災害が岡山で起きたことで、たくさんの方がパニックに陥り、行く先の見えない中から、このように継続して活動ができた事は、ご寄付いただいた皆様のおかげです。

そのご厚意をうけ、これからも活動は継続し行ってまいりますので、どうぞ見守っていただきたいと思っております。あいがとうございます。

今後の活動

信頼関係をつくるために、顔の見える、発言ができる場(コミュニティ)をつくる。

喪失感を長いスパンで見守る。(日常の生活を取り戻すまでのお手伝い。)

元気のある地域活性化。

にぎわう真備。